

A.C.P.C. All Japan Concert Tour Promoter's Conference

発行元:社団法人全国コンサートツアーサイド事業者協会 発行人:永田友純
〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-9-20 TM広尾3F 編集人:鈴置雄三 Editorial&Art Direction:White

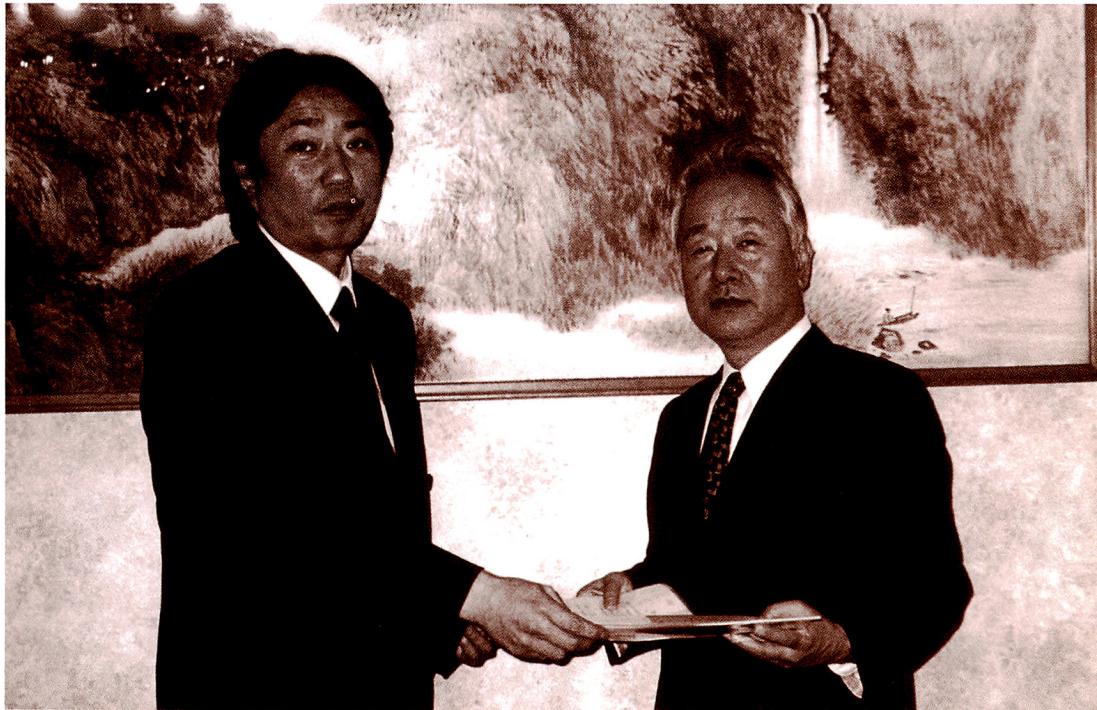
ZONING

December
2000
VOL.
ZONING
INFORMATION NEWS

20

禁無断複写転載 ©2000. A.C.P.C.

topic



JASRACと団体協定締結

11月2日、東京・平河町で社団法人日本音楽著作権協会（以下、「JASRAC」）との団体協定締結の調印式が行われました。

ACPC永田友純会長、JASRAC吉田茂理事長によって調印された協定は、本年1月から開始されていた一括手続きの実験経過が良好であるとの判断によるもので、正式には10月1日を発効日としています。

この一括手続きは、コンサートで著作物を使用する際の使用許諾申請、使用料の支払い、及び使用楽曲の報告等をACPCで一元化することにより、ACPC会員ならびにJASRACの業務が効率的に遂行されることを目的としています。

そもそもこの実験は、故・井上隆司前副会長を中心に、平成4年から同6年にかけて実施されていましたが、JASRAC側の諸事情により中断。昨年9月から準備協議を開始し、1月からの実験開始となっていました。

また、この団体協定によって、ACPCの正会員は著作物使用料に一定の割引措置を受けることになりました。両団体がこの一括手続きに相互のメリットを認め、今後さらにステップアップしながらより合理

的なシステムに育て上げようとするJASRACの期待感が込められた措置であると思われます。

思えば、確かに、かつての著作物使用料の支払いに関しては、搾取する側・される側といった感情的な隔たりが存在していたようです。しかし、時代は変わりました。いや、ACPCとJASRAC、そしてご指導・ご支援をいただいた音楽産業界の方々と一緒に変えたのです。

近年、音楽産業における著作者、実演家の立場は様々な権利の確立により一層確かなものとなりました。迎えるべき新しい時代は、楽曲を中心とする著作者と実演家とコンサートプロモーターが正三角形を形成する時代とは言えないでしょうか。互いの立場は異なりますが、それは隔たりではなく、役割の相違であって、音楽産業の発展を願う気持ちに変わりはないはずです。

ACPCとJASRACの10年にわたる協議は、紆余曲折を経ながら、今回の団体協定を導き出しました。そうした意味で、この団体協定はまさに正三角形の形成に向けた第1歩だと思います。

ACPCは、新しい時代へ確実に歩みだしました。

鈴置 雄三氏
(株)サウンドクリエーター 代表取締役
会員が全国に分散化しているACPCの特殊性を考えると、情報発信や会員相互のコミュニケーションのために、インターネット等でのACPCネットワーク構築が急務だと思います。本年はその実現の為に汗をながしたいと考えています。

室田 正則氏
(株)キャンディープロモーション 代表取締役
音楽業界の健全な発展を目指し、1988年に任意団体として設立され、はや12年を経過し、途中JASRACとの様々な経過を経て、今、「一括手続きに関する協定書」を結び、かたや半世紀にわたるJASRAC一社独占に終止符を打つ「仲介業務法の改訂」という、まさに世紀の変わり目に相応しい出来事に接し感無量です。来る21世紀に向け、ACPCが更に発展していくことを願います。

宮垣 瞳男氏
(株)デューク 代表取締役
ACPCの10年を振り返って…
あっという間の10年間だったのか、10年も経ったのかという2つの感慨が交錯しています。然し設立当初の大目的だった、JASRACとの団体協定の締結が出来たことは本当に嬉しい限りです。内野前会長以下皆さんのご尽力に感謝致します。ただ志半ばで逝ってしまった井上氏の無念を思うと心がいたみます。
ACPCは新しい次のステップへ向けてスタートしました。永田新会長のもと、会員諸氏の更なるご支援とご協力を戴きたいと思います。

瀬川 忠雄氏
(株)ノースロードミュージック 代表取締役
あっという間の10年でした。ローカル在住の小プロモーターとしては、たいした仕事はできませんでしたが、全国すべての会員社のために運営されているACPCの姿を象徴する役目を果たせたなら、いさかお役に立てたのかもしれません。今の役目は、次の世代に運営のバトンをきちんと渡すことと考えています。

小島 紳次郎氏
(株)ウエス 代表取締役
いよいよ21世紀です!
音楽業界も大変化しています。僕らプロモーターも変化していかたいと思います。
アーティストと観客の関係を大事に素敵なライブ空間&時間を提供していかたいと思います。

北島 匡氏
(株)ビッグイヤーアンツ 代表取締役
何も解らない不良集団が、ただ勢いで始めたイベントが1972年でした。
正直なところ将来のことなど誰も真剣に考えて居なかったと思う。
『ただひたむきだった。』そんなところなのでしょうか?

先日『シカゴでライブ活動をやっています。』と21歳の女性からメールをもらいました。何の枠にもはまらずその自由奔放さと勇気に感動すら覚えています。
アンチテーゼ、反体制、そして…
…かたちは違ってもそんな思いを持った若いミュージシャンたちが数多く出てきています。
世紀が変わろうとしている今、どこか1970年ごろに似ている感じているのは私だけでしょうか。
ACPCがてて10年、そんな若いミュージシャンたちの気持ちになつて
そして心から応援できる組織になって行けば良いと思うのです。

A.C.P.C.

10th ANNIVERSARY

全国各地の会員から 10年目の声です。

内野 二朗氏
(株)ミュージックリーク 代表取締役会長
ACPC 10周年おめでとうございます。
戦後50数年、日本のポップミュージックの発展は世界の音楽史にも類をみません。その音楽文化の発展に陰で、裏でさえ、クリエートしてきたのが我々プロモーター達であると思います。世界に二つないプロモーターの法人組織(ACPC)であり、それは大いなる誇りです。
21世紀に向かって、ACPCの基本理念を以って、グローバル化する世界の音楽界に全会員が一致協力し21世紀の音楽界を創りたいと思います。
音楽は生きているという事と同じです。音楽のある生活は平和な生活ということではないでしょうか。

桑原 宏司氏
(株)サンデーフォークプロモーション 代表取締役
ACPC設立10周年おめでとうございます。
この6月より理事として参加しております、桑原です。よろしくお願いします。
1987年に著作権使用料の改定をきっかけに、故井上社長の呼びかけで設立され、10年の時を経て、やっと今年念願の団体協定が締結された事は、誠に感慨深いものであります。
今後も団体の発展と我々の地位向上の為、団体活動に寄与して行きたいと思います。

新役員決定

この度、平成12年度通常総会において任期満了につき役員選挙を行った結果
以下のとおり新役員が選任されました。

会長	永田 友純	(有) ホットスタッフプロモーション
副会長	山崎 芳人	(株) キヨードー東京
	小島紳次郎	(株) ウエス
常任理事	瀬川 忠雄	(株) ノースロード・ミュージック
	善木 準二	(株) 夢番地
	辻居 幸一	中村合同特許法律事務所・弁護士
	宮垣 睦男	(株) デューク
理事	桑原 宏司	(有) サンデーフォークプロモーション
	鈴置 雄三	(株) サウンドクリエーター
	高橋 章	(有) アイランド
	反畑 誠一	音楽評論家
	千葉 茂	東京都専修学校各種学校協会・理事
	土江 啓介	(株) 宝島社
	中西 健夫	(株) ディスクガレージ
	野地 稲嘉	作家
	正田 聰	東洋大学・教授
	室田 正則	(株) キャンディー・プロモーション
	横井 俊夫	東京工科大学・教授
	渡辺 真理	法政大学・教授
監事	北島 匡	(株) ビッグイヤーアンツ
	藤田 等	(有) エフ・オー・ビー企画
	渡部 秀一	渡部会計事務所・税理士
顧問	内野 二朗	(株) ミュージックリーグ
	黒田 益弘	(株) ソーゴー東京
理事・事務局長	山本 幸治	(社) 全国コンサートツアー事業者協会

新会長挨拶

永田友純(有)ホットスタッフプロモーション

会員の皆様をはじめ、日頃本会の活動にご理解ご尽力を賜っております皆様に対し、謹んでご挨拶申し上げます。

この度、通常総会において会長に選任され、これまで3期6年をご先導いただいた内野二朗前会長の後任としての大役をお引き受けすることとなりました。巻頭でもご紹介申し上げましたが、(社)日本音楽著作権協会との間に団体協定が締結され、ACPCも新たな時代を迎えること実感しております。とは言え、コンサート事業の周辺には課題も残されています。また、技術の発達等による過去に例の無い新たな課題も生まれています。微力ではありますが、コンサート環境をより良く整備していくことにより、音楽産業・文化の発展に寄与する所存でありますので、皆様方のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

平成12年度事業計画書

平成12年4月1日から平成13年3月31日

I. 事業の概況

1. コンサートツアー事業に関する調査・研究

- [1] コンサートツアー事業に関する基礎調査
- [2] コンサートツアー事業に関する合同研究
- [3] コンサートツアー事業に関する消費者関連調査
- [4] コンサートツアー事業に関する資格制度等の研究

2. コンサートツアー事業に関する研修会・セミナー等の開催

- [1] コンサートツアー事業に関する研修会の開催
- [2] コンサートツアー事業に関するセミナーの開催

3. コンサートツアー事業に関する情報の収集

- [1] 機関紙「ZONING」の発行
- [2] FAX NEWS 「Weekly ACPC」の発信
- [3] 会員各社が発行する会報等、情報提供物の収集
- [4] コンサートツアー事業に関するデータの収集と提供

4. コンサートツアー事業に関する内外関係機関との交流及び協力

- [1] アジア・欧米・オセアニア地域のコンサート事業者及び関係団体との交流を図るとともに、イベント等の協力事業を実施
- [2] 音楽関連施設との交流及び協力
- [3] 著作物使用に関する協力
- [4] 著作権擁護思想普及啓発協力
- [5] 関連団体等との調整・協力

5. コンサートツアー事業に関する知的財産権の維持・管理及び保全

- [1] コンサートツアー事業における知的財産の調査・研究

6. コンサートツアー事業に関する表彰

- [1] コンサートツアー事業に貢献のあった事業者等の表彰
- [2] コンサートツアー事業に関連する表彰制度についての研究

7. コンサートツアー事業に関する苦情及び相談

- [1] コンサートツアー事業に関する会員各社ならびに消費者からの要望、クレーム等の収集及び課題の改善
- [2] コンサート約款の普及

8. 前各号に掲げるもののほか、当協会の目的を達成するために必要な事業

- [1] コンサートツアー事業における保険制度等の研究及び実施
- [2] コンサートツアー事業におけるフランチャイズ・サービスの実施

株式会社エンタテインメントプラス

イープラス
〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1
ゲートシティ大崎ウェストタワー21階
tel.03-5435-3220

コミュニケーション・ネットワーク株式会社

CNプレイガイド
〒113-033 東京都文京区本郷3-19-2 BHビル
tel.03-5800-3200 (代)

ぴあ株式会社

チケットぴあ
〒102-0075 東京都千代田区三番町5-19
tel.03-3265-1668 (代)

株式会社マイカル

MY CAL 21チケットぴあ
〒541-0056 大阪府大阪市中央区久太郎町3-1-30
第1勧銀船場ビル
tel.06-6252-5052 (代)

株式会社 丸井

丸井チケットぴあ
〒164-8701 東京都中野区中野4-3-2
tel.03-3384-0101 (代)

株式会社ローソンチケット

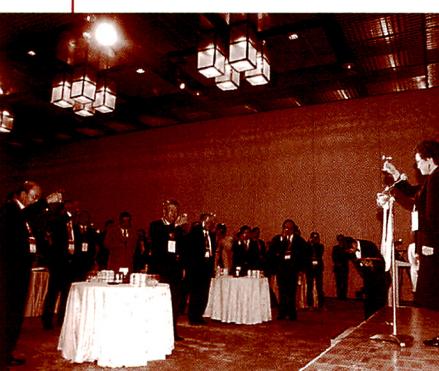
ローソンチケット
〒104-0061 東京都中央区銀座6-2-1
ダイエーOMCビル9F
tel.03-5537-9800 (代)

私たち、
全国のコンサートツアーを
サポートしています。

MIX MUSIC & INTERACTIVE INDEX 2000

<http://www.mix.gr.jp/>

「これを日本で実現させたい!」とSXSWの会場で思ってから3年がたちました。海外で10数回重ねたイベントをモデルにしたので、この1年間は苦労の連続でした。バスのシステム、ライブの数や内容、動員、広報、などなど。机上のプランや、完成されたイベントを見た経験では全く把握できなか



った事態が毎日のように起こりました。ですが、多くの人々の叱咤激励のおかげで、これだけの規模のイベントを、札幌という地方都市で実現できたことは我々にとって大きな自信であり、2回、3回と続ける原動力になりました。もちろん反省点は山のようにあります。一つずつ課題を整理して、SXSWや他のイベントのコピーではない「MIXスタイル」を築いていこうと思っています。

ACPC会員の若いみなさん、来年は積極的にMIXに参加してください。各地のプロモーターが、地元の有望な新人たちを集めて、地域単位のライブを行ったり、セミナーで情報ネットワークを広げたり、毎日行われるたくさんのライブを見て、新人の発掘や、ライブがユーザーに与える影響、ユーザーのニーズを的確に捉えてほしいと考えます。このMIXの期間中に、地域の壁を越えた若いプロモーターが集まり、日々の情報交換や、次の時代のライブのあり方を話し合う、そして新しいイベントの企画をたてるような、新しいネットワークができるることを願っています。最後にこのイベントに賛同いただきました皆様に厚くお礼申し上げます。

MIX2000 運営事務局



音楽が札幌に集まつた。日本で初めての4日間。

つくづく快挙であったと思う。誰しもが音楽業界の大変革を予感している今、単なる情報交換のレベルを遥かに超えたイベントの開催は有意義だった。

ライヴによるプレゼンテーションと、時代性のあるテーマを掲げたディスカッションを基本に、まさに札幌という街全体を巻き込んでの構成。第一回目ということで一般の人々の認知はまだまだだったにしても、クラブ・イベントの成功を見る限り、楽しみながら参加する人の数は今後、一気に増大しそうだ。

個人的には自分がナビゲーターとして参加した「ロックフェスティバルの現状と今後」のパネル・ディスカッションは興奮を覚えるほど楽しかった。FUJI ROCKの日高氏、ミート・ザ・ワールド・ビートの古賀氏、ライジング・サンの小島氏という話題のフェスティバルのプロデューサー3氏の見解は、新しい時代の音楽イベントの在り方を明快に表わしていた。それは、新しいエンターテイメントを模索する制作と、新しい楽しみ方を求めるファンの間から生まれてくるものだという事実を痛感させてくれるとともに、そこで起こる種々の問題をクリアすることさえエンターテイメントになり得るという非常に前向きなものだった。

MIX2000は閉鎖的なイベントではない。ここから何かが始まる可能性を、第一回目から示した。おそらく第二回目の準備にもう入ったスタッフの方々、継続を祈ります。次回も参加させて下さい。

音楽評論家 平山 雄一氏



MIX2000 MUSIC & INTERACTIVE INDEX

実施期間：2000年10月5日(木)～8日(日)

※セミナー 10月5日(木)～7日(土)

※見本市 10月5日(金)～8日(日)

主 催：MIX2000実行委員会

特別協力：(財)音楽産業・文化振興財団

(社)音楽制作者連盟

(社)全国コンサートツアー事業者協会

内容：

※ライブ 13の国と地域から224アーティストが出演、29会場でライブを開催

※セミナー 講演・パネルディスカッション・ワークショップなど17講座を開催

※見本市 46企業・団体が出演

動員数：

※ライブ 43,500人(4日間合計)

※セミナー 1,440人(3日間合計)

※見本市 7,050人(3日間合計)

第9回ACPC人材育成研修会

開催日：平成12年10月7日(土)～8日(日)

場 所：札幌パークホテル4F「清流」

参加者：ACPC正会員社より30名

今回の研修会は、若手が多く参加するということもあり、著作権及びCDがどのくらい売れれば、どのくらい利益が生まれるのか?という利益構造のしくみが1つと、プロダクション側からみた理想のプロモーターとは?という内容で、(有)アイランド代表取締役 高橋章氏、(株)アミューズ常務取締役 横山元一氏にお越し頂き、僕がナビゲーターで話を進めました。



音楽業界人としてまず、「この業界自体がどのような構造になっているか」ということを知らなければいけません。このことを把握した上で仕事をしていくかないと、これだけ早いスピードで色々な変革が行われている中、コンサートビジネスだけが取り残される危惧を感じていたのでその辺の話を聞いて頂きました。

著作権に関しては少し難しかったかもしれません。けれど、我々のビジネスの基本は「アーティストが売れる、もちろんCDが売れる」ということなので、そのことを知ってもらいたかったわけです。

研修会に参加した人がどのくらい理解をしたかはわかりませんが、業界構造及びプロダクションからの見方という意味では、有意義な時間を過ごせたのではないかと思います。

世の中の「IT革命」及び「流通構造の変革」に対して、ついていけないというアナログなコンサートプロモーターでは困るので、ライ

ブが好きという以外に、ビジネスマンとしての広い視野をもちこの音楽業界の中で勝ち残っていく為には、根本的なことをまず把握しないと非常に難しい時代になったと思っております。そういう意味では、今回を第一回目とし、今後も学ぶ機会を多く創っていき、ACPCとしての底上げを図っていかないといけないのでないでしょか。

学ぶことは、学ぼうとすることは無く、自ら興味を持って反芻していかないと意味がないと思います。もう少し我々も含め今後の音楽業界を見据え、グローバルな視野で判断していく時期にきていると思います。

(株)ディスクガレージ 代表取締役 中西 健夫氏

TATUYA ISHII Produce ASIA MUSIC FESTIVAL 2000 IN SAPPORO



開催日：平成12年10月8日(日)

17:30開場／18:30開演

会場：Zepp Sapporo (北海道札幌市中央区)

料金：¥3,800(税込)

出演者：石井竜也

TATUYA ISHII (JAPAN)

川村結花

YUKA KAWAMURA (JAPAN)

キム・ゴン・モ

KIM GUN MO (KOREA)

清醒(チンシン)

QING XING (CHINA)

動員数：1,500人

